

東京外国語大学における研究設備・機器の整備・共用方針

東京外国語大学は、本学のミッション実現のため、研究設備・機器の整備・共用体制を確立し、研究環境を整備することにより、学内における研究力向上を図るとともに、国内外の研究機関等との連携を推進し、研究成果の社会実装を目指すため、以下のとおり方針を定める。

1. 本学は、大学の機能を最大限発揮するための基盤となる研究設備・機器を経営資源の一つと捉え、学内における限られた保有資産を最大限活用するため、全学的なマネジメントによる戦略的な研究設備・機器の計画的・継続的な整備・共用を推進する。
2. 本学の構成員は、研究設備・機器の計画的な整備・共用を推進するに当たり、相互に連携し、研究設備・機器の利用環境の整備・運用について協働する。
3. 本学は、研究力の向上に資するため、研究活動の基盤構築に資する研究設備・機器を戦略的に導入・更新する仕組みを構築するとともに、効果的な運用を行う。